

全木連時報

3月25日(木曜日)

(第624号)(毎月25日発行)

平成22年(2010年)

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

編集人 尾 蘭 春 雄

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215

URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

第37回JAS製材品普及推進展示会

入賞工場を表彰



昨年八月から十一月にかけて、全国七カ所の木材市場で開催された今年度のJAS製材品普及推進展示会(第三十七回)の受賞出品工場がこのほど決定し、うち、主催三団体特別賞、農林水産大臣賞、農林水産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞について、三月一日に東京で表彰式が開催され、各賞が授与された。また、各開催市場への感謝状が主催者から贈られた。主催団体の会長賞および買方への感

謝状は、別途開催市場で伝達される。

表彰式で、挨拶にたった並木全木連会長は「品質の確保されたJAS製材品への評価が高まっているが、普及が不十分。供給を増やすことが大事。この展示会は大切な行事である。」と強調した。また、審査委員長である富田文一郎日本木材加工技術協会会長は講評として、「出展数は七十六社、八百四十六社と、業況厳しい中であつたが、前年並みの実績であつた。審査結果としては、百点が六社、九十点が二十四社と水準がそろつてきたとも言える。住宅では、木材はタテ使いばかりでなく、横方向にも使われるようになる、これからはJASが求められる。」と述べた。

▼受賞者は次のとおり。
注(一)内は工場所在都道府県。順不同。

主催三団体表彰

株式会社日田十条(大分)

銘建工業株式会社(岡山)

農林水産大臣賞

協和木材株式会社(福島)

中国木材株式会社鹿島工場(茨城)

株式会社沓澤製材所(秋田)

有限会社倉地製材所(岐阜)

消費・安全局長賞

気仙木材加工協同組合連合会(岩手)

有限会社須田製材所(岡山)

有限会社山洪木材(岡山)

株式会社鈴鹿製材所(岡山)

小林製材株式会社(岡山)

株式会社鏡水(岡山)

河井林産株式会社(岡山)

院庄林業株式会社本社工場(岡山)

株式会社木谷製材所(熊本)

天草地域森林組合(熊本)

熊本県森林組合連合会(熊本)

熊本モルター加工事業協同組合(熊本)

林野庁長官賞

柴木材株式会社(富山)

有限会社菊池製材所(岩手)

株式会社一戸製材所(岩手)

株式会社佐藤製材所(宮城)

金子製材株式会社(埼玉)

株式会社丸七ヒタ川ウッド(岐阜)

伊藤林産有限会社(岐阜)

株式会社オオコーチ(三重)

株式会社西村木材店(三重)

目次

一面 JAS製材品展示会入賞工場を表彰

二面 常勤役員・事務局長等会議

開き来年度事業などを検討

三면 全木連PR委員会を開催 公共

建築物における木材の利用促進

四면 に関する法律案が閣議決定

林業・木材産業経営安定化

保証 景況調査

宮川森林組合(三重)

斎藤木材有限会社(三重)

山下木材株式会社(岡山)

セイキ林業株式会社(岡山)

株式会社丸左木材(岡山)

牧野木材工業株式会社(岡山)

小国ウッド協同組合(熊本)

全木連会長賞

耳川林業事業協同組合(宮崎)

共力株式会社(福島)

協同組合いわき材加工センター(福島)

中勢森林組合(三重)

熊本製材小径木協業組合(熊本)

宮内林業株式会社(宮崎)

合資会社山口商店(熊本)

都城森林組合(宮崎)

株式会社佐藤林業(熊本)

全市連会長賞

厚沢部林産工業株式会社(北海道)

坂本商店(奈良)

ウッドピア流通検査協同組合(三重)

尾鷲ヒノキ内装材加工協同組合(三重)

土井木材株式会社(岡山)

合資会社立山製材所(熊本)



全木連・全木協連合同 常勤役員・事務局長等会議開く

- 有限会社三和物産(熊本)
- 九州林産株式会社(大分)
- 全買連会長賞
- 株式会社西根製材所(北海道)
- 株式会社庄司製材所(山形)
- 越井木材工業株式会社(茨城)
- 木協産業株式会社(宮崎)
- 院庄林業株式会社久米工場(岡山)
- 株式会社松島木材センター(熊本)
- 株式会社佐藤製材所(熊本)
- 中村製材株式会社(熊本)
- 都城木材株式会社(宮崎)
- 開催市場
- 東京木材市場株式会社

- 丸宇木材市売株式会社大栄浜市場
- 株式会社東海木材相互市場
- ウッドピア市売協同組合
- 株式会社津山綜合木材市場
- 肥後木材株式会社
- 買方
- 株式会社早川
- 有限会社坂巻材木店
- 株式会社斉藤材木店
- 上地木材株式会社
- 水口木材株式会社
- 山政木材有限会社
- 株式会社ササコーポレーション

全木連と全木協連は二月十八日に東京港区のメルパルク東京で合同の常勤役員・事務局長等会議を開き、平成二十二年度政府施策や全木連、全木協連の事業計画案などについて検討した。

これは、各都道府県木協連等から事務局の責任者が出席して、毎年この時期に行っているもの。

会議は、吉条全木協連会長の挨拶で始まり、まず、平成二十二年度の政府施策について、越海興一国土交通省木造住宅振興室長、鈴木信哉林野庁木材産業課長、池淵雅和林野庁木材利用課長から説明を受けたうえで、質疑を通じ要望等を伝えた。

次いで議事に入り、全木連、全木協連の平成二十二年度事業計画

労働災害ゼロを目指そう ゼロ災害事務局長会議を開催

全木連が事務局を務める木材・木製品製造業ゼロ災害推進協議会の全国事務局長会議並びに林業労働災害防止協会木材・木製品部会の合同会議を二月十八日に東京港区のメルパルク東京で開催した。

各都道府県木連の事務局責任者と関係中央団体が出席した。

会議は、労働災害の発生状況と労災保険会計の収支状況、労災保険料率の動向、今後の取組みなどについて検討した。

木材・木製品製造業の労災保険料率は、昨年の四月から三ポイント引き下げられ、千分の十五となる。この引き下げにより、労災保険料の負担軽減額は約十五億円になる。

労災保険料率の見直しは三年に

最後に、木材産業をめぐる最近の諸情勢について、①国産材利用の推進についての要望②新たな木材利用の推進取組み事例発表会③林業・木材産業経営安定化保証制度④中小企業資金繰り対策⑤中小企業経営支援対策⑥中小企業緊急雇用安定助成金⑦全木協連事業(リース事業等)の利用促進⑧合法木材の取扱実績⑨学校の木造設計等を考える研究会⑩平成二十二年全国会議等の日程などについて報告・連絡したほか、県木連からの情報提供を受け、意見交換の後、終了した。

一度行われるが、今後の労働災害の発生状況によっては、逆に引き上げの事態もありえるため、今年度の労働災害防止活動の成績が重要となる。今後とも、労働災害の発生を減少させ、災害ゼロを目指すべく、会議で確認した。

JAS認定・全木検

- ▼平成二十二年二月九日付(株)アンネルベッド広島工場(広島県東広島市) 全数検査・下地用製材、広葉樹製材
- ▼平成二十二年二月二十二日付(有)歳永木材店製材工場(山口県美祇市) 全数検査・構造用製材、造作用製材、下地用製材

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種保障制度

従業員のために
中型グループ

経営者のために
総合保障プラン

総合賠償補償制度 → 第三者への事故対策に

任意労災保障制度 → 労働災害への対策に

木退共 → 従業員の退職金の準備に

積立終身 → 経営者の退職金などの準備に

おかげさまで35年
中型グループ

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

などの備えに
ケガ・病氣入院

全木連PR委員会を開催 22年版ポスターの作成などを検討

全木連は、二月十九日にPR委員会を開催し、平成二十二年版木材PRポスターの作成などについて検討した。PR委員会は毎年この時期に開催しているもの。

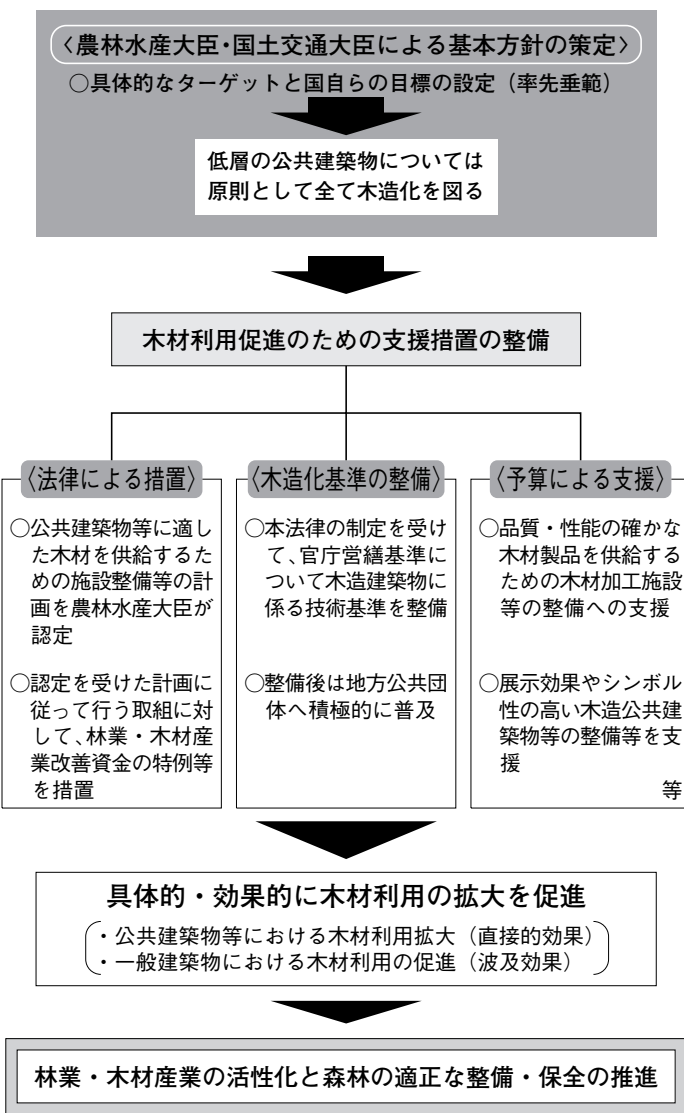
PRポスターは、平成八年から毎年作成しており、比較的簡便な全国统一PRグッズとしてのニーズも根強いことから、平成二十二年も引き続き作成する。会議では、これまでのテーマの流れに沿って、何を主張するポスターを作るのかについて意見交換した。

意見は幅が広いが、昨年版の評価をベースに「健康と木造住宅」の内容で作成することとなった。昨年のポスターの評価は概して好評であり、理由としては、モデ



平成21年版ポスター

公共建築物等における木材利用の促進スキーム



公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律案が閣議決定

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律案」が三月九日に閣議決定された。

同法案は、木材の利用の確保を通じた林業の持続的かつ健全な発

「新たな木材利用の推進取組み事例発表会」が開催

木材利用推進中央協議会主催の「新たな木材利用の推進取組み事例発表会」が三月十二日に東京新

「低炭素化社会」の実現に、森林整備、間伐材等の木材利用促進が重要でありながら、住宅着工数の大幅な減少に伴い、わが国の木

材需要は減少傾向で推移し、木材利用の拡大に向けたあらゆる取組みが求められている。

このなかで住宅分野以外での木材の利用促進が課題となっており、その一環として畜舎等、店舗、事務用家具への国産材を含む木材利用の取組み事例が紹介された。

畜舎等の事例として、トラス工法による木造建築物における大空間を確保したもの。

店舗の事例として、フランチャイズチェーン(ファミリーマート、ミニストップ)の木造店舗展開。オフィスの事例として、各社の取組みが紹介された。(次号にて詳報の予定)

景況調査＝全木協

22年2月分集計表 ()内は実数

モニター数108 回答数67 回収率62%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加25% (17)	変わらず42% (28)	減少33% (22)
仕入量	増加21% (14)	変わらず47% (31)	減少32% (21)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず88% (58)	下降9% (6)
仕入価格	上昇15% (10)	変わらず80% (53)	下降5% (3)

来月の見通し

販売量	増加50% (33)	変わらず35% (23)	減少15% (10)
仕入量	増加42% (28)	変わらず40% (27)	減少18% (12)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず88% (58)	下降9% (6)
仕入価格	上昇15% (10)	変わらず77% (51)	下降8% (5)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	14% (8)	79% (46)	7% (4)
南洋材	20% (11)	74% (40)	6% (3)
北洋材	11% (6)	75% (43)	14% (8)
国産材	18% (11)	58% (36)	24% (15)
建材	12% (7)	77% (44)	11% (6)

乾燥材取引の頻度	増加 17% (11)	変わらず 83% (53)	減少 0% (0)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数117 回答数80 回収率68%

当月の状況

販売量	増加29% (23)	変わらず46% (36)	減少25% (20)
仕入量	増加32% (25)	変わらず40% (32)	減少28% (22)
販売価格	上昇5% (4)	変わらず80% (63)	下降15% (12)
仕入価格	上昇28% (22)	変わらず67% (53)	下降5% (4)

来月の見通し

販売量	増加42% (33)	変わらず44% (35)	減少14% (11)
仕入量	増加44% (34)	変わらず48% (38)	減少8% (6)
販売価格	上昇9% (7)	変わらず85% (66)	下降6% (5)
仕入価格	上昇23% (18)	変わらず68% (54)	下降9% (7)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	47% (16)	47% (16)	6% (2)
南洋材	35% (9)	61% (16)	4% (1)
北洋材	38% (11)	62% (18)	0% (0)
国産材	23% (16)	64% (44)	13% (9)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 86% (12)	1ヵ月 14% (2)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	----------------	-----------------

**農林漁業信用基金の
林業・木材産業経営安定化保証**

農林漁業信用基金では、運転資金及び設備資金を対象とした、原則100%保証の「林業・木材産業経営安定化保証」を行う。

受付期間は平成二十二年二月一日～平成二十三年三月三十一日。

木材需要が低迷する中で、今後資金繰りが一層厳しくなる林業者・木材産業者の資金が円滑に融通されるよう、平成二十一年度第二号補正予算に基づく措置。

保証の内容は次のとおり。

▼保証対象資金
素材生産方式等の合理化、木材

の生産又は流通の合理化、間伐の推進等に必要な運転資金及び設備資金。具体的には、林業経営基盤強化等暫定措置法又は林業・木材産業改善資金助成法に基づく計画（林業経営改善計画、合理化計画等）に係る事業の実施、間伐材や高品質木材の生産の実施に必要な資金

▼保証対象者
正常先もしくは要注意先とし、具体的には以下の要件を全て満たす者（ただし、最終的には基金の審査による）

・自己資本が実質債務超過になっていない、または実質債務超過であっても改善の見込があること

・融資機関借入金に延滞がないこと

・融資機関借入金総額が原則年商以内であること

▼保証の範囲
原則100%保証

▼保証期間
運転資金については原則十年以内
設備資金については十五年以内
原則として更新を認めない臨時保証扱いとする

詳しくは左記に問い合わせを。
問い合わせ先 農林漁業信用基金・林業部・保証課 03-3294-15585

フォレストサポート保証の受付は本年3月末までです

- ◎ 経営支援のためのセーフティネットとして、最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)
- ◎ 連帯保証人は組合・会社の場合、代表者1名でもOK



林業・木材産業経営安定化保証 (通称フォレストパートナー保証)が始まりました

- ◎ 木材産業等高度化推進資金や間伐資金などで100%保証が受けられます
 - ◎ 最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)
- 詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)

TEL 03(3294)5585 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com

